

「自主」「責任」「協力」



学校だより

令和 7 年度
亀岡市立南桑中学校
令和 8 年 1 月 9 日
第 9 号

新年への思い新たに歩みをはじめめる



令和8年の新春をお健やかにお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、ご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。昨年は、本校教育の推進につきまして、保護者の皆様、地域の皆様方の温かいご理解とご協力をいただきましたことに心よりお礼申し上げます。

3学期が始まりました。生徒が元気よくあいさつし登校してきた姿に、ご家庭や地域で見守られて年末年始を過ごす様子を思い浮かべつつ、今学期も生徒が安心して学び、一人ひとりが力を蓄え、春にはそれぞれの場所で自信を持って輝けるよう、教職員一同、努力していかねばならないと感じました。今後とも、皆様のお力添えをいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

校長 藤田 光宣

【始業式挨拶より】

元旦の朝、家の外に出ると、陽の光がとてすがすがしく、「なんて気持ちの良い日和だろう。」という思いに浸りました。そして、このような穏やかな気持ちで空を見上げることができる自分に幸せを感じ、併せて、同じような心地で、今年を締めくくることができようようにと願いました。

生徒のみんなは、新年の始まりに際し、様々な決意を抱いたでしょうが、それが一人一人の満面の笑顔へと結びつくことを願っています。これまで、様々な場面で、みんなの様子を見てきました。部活動の大会や学校行事では、今この時にかかる真剣な眼差しや互いをたたえ合う態度、時には様々な思いが涙となって溢れ出た姿、日常生活では、仲間と励まし合う姿や困っている人にさっと手を差し伸べる優しさがありました。それらの姿に触れる度に、心が揺さぶられたり、すがすがしく心が洗われた気持ちになったことを覚えています。君達の心が写し出された一つ一つのシーンは、とても価値のあるものです。でも、やはり、全ての結末は、君達の笑顔で締めくくって欲しいと思っています。この一年の歩みでは、喜んだりすることばかりではなく、時として、苦しみや悲しみを感じることもあるでしょうが、それぞれの節目を笑顔で迎えられることを切に願っています。 ※一部抜粋

【『ボランティアの日』とは】

31年前の1月17日、午前5時46分に、日本の歴史に残るような天災、阪神淡路大震災が起きました。今でも私の記憶には当時の様子が鮮明に残っています。日本の防災ということに対する考えの甘さを露呈した地震。多くの人々が、悲しみのどん底にたたき落とされた出来事です。そんな痛ましい出来事です。一方で、人の温かさが再認識されるきっかけにもなった出来事でもありました。若者を中心とした多くの人々が、居ても立っても居られない思いから、ボランティアとして被災地に出掛け、被災した人達を悲しみのどん底から救い出そうと必死になって働きました。その姿は、見る人の心を打ち、被災者に生きる力を与え、この日が『ボランティアの日』とも呼ばれるようになりました。人に生きる力を与える。なかなかできることではないでしょう。人は、悲しみのどん底にある時、強い孤独感を感じるそうです。それを取り除くのは、一人の力では難しいでしょうが、多くが集まれば、光明が見いだせます。きっと、社会という集団で生きる人間という動物にとっては、「自分に対して、多くの支えがある。」と感じることが、大きなエネルギーを与えるのではないのでしょうか。これから、みんなの人生の中では、自分一人の力ではどうしようもなく、人の力を借りなければならない時があるでしょう。また、自分の力を人に貸すべき時もあるでしょう。その時に自分のどんな力が必要なのかについては、今から、時おり自分の周囲を見渡したり、自分が他の人のために何ができるのかを考えたりすることをしていなければ、「その時が今だ。」とは気付きもしないでしょう。人として、また、集団の一員として、このようなことを考える機会として1月17日の「ボランティアの日」というのはもっとも適した日ではないのでしょうか。毎年1月17日に、自分が他の人や社会のために何ができるのかを考えてみたりして、自分が人としてどのくらい成長したのかを見つめる機会にしてもいいかもしれません。

1 年生福祉体験学習（12月2日、8日）

赤い羽根共同募金



「『みんなが暮らしやすい社会』のためにわたしたちにできることを考えよう」を目的に赤い羽根共同募金の助成を受けて、実施しました。点字、手話、車椅子、アイマスクを体験したり、講演・演奏を聴いたりして考えを深めました。講師としてお世話になりました亀岡市視覚障害者協会様、同むつぼし会様、手話サークル四季の会様、4 disabilities 様、ありがとうございました。

- アイマスクは、前が見えないから怖かったけれど、一緒に進んでくれる人が音とかで知らせてくれたからよかった。
- 点字は読み取るのが大変そうだったけれど、規則性があって分かりやすかった。
- 体験することで一緒にの思いになって考えられたり、どのような不自由さがあるのかというのを身をもって体験できたりしたことがよかった。
- もし人を誘導する機会があれば、安心してもらえるような声かけを心がけて誘導したいです。
- 実際に話を聞いたのは初めてだった。知らなかった手話や話し方などがわかった。口の動きだけで読み取るのは難しかった。
- 車椅子に乗っていると、ちょっとでも段差があるとのぼりにくいし、実際に体験して人が押さないで安心できないことが多いことがわかった。

生徒の感想から

生徒会選挙・生徒会引き継ぎ式

12月11日(木)「生徒会役員選挙」が行われました。インフルエンザ拡大防止のため、オンラインでの実施となりました。1・2年生の立候補者がそれぞれ、どのような南桑中学校をつくっていきたいか、熱く自分の思いを語ってくれました。

また23日(火)には、「生徒会役員引き継ぎ式」が行われ、3年生が中心となって行ってきた生徒会活動が、1・2年生にバトンタッチされました。

コンクール・大会入賞

【JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 2025】

学校賞 南桑中学校 個人の部佳作

【小論文グランプリ】

優秀賞 2名

【人権作文コンテスト】

園部人権擁護委員協議会長賞

【税についての作文】

口丹波納税貯蓄組合連合会優秀賞

【第45回市民卓球大会】

男子中学生以下の部準優勝

1 月行事予定

7日(水) 第3学期始業式

8日(木) 身体測定

9日(金) 1・2年生亀岡市学力テスト

16日(金) 英検

17日(土) 強化講習(バレー)

23日(金) 1年生百人一首大会

28日(水)～30日(金) 3年定期テストⅤ